

7月 17日（金）今日の盛り付け

大皿：ポークハヤシライス

大碗：フルーツ寒天ポンチ

小碗：ひよこ豆の
フレンドレッシングサラダ

トレイ：牛乳



【ひとくちメモ】今日の給食は洋食です。

ハヤシライス

ハヤシライスは炒めた肉、玉ねぎの具をソースで煮込み、ご飯にかけてつくる日本で生まれた西洋料理です。

ハヤシライスの由来をめぐっては、いくつかの説があります。まず、上野精養軒の^{はやし}の^{せつ}ックだった^{じゅうぎょういんよう}林^{しよくじ}さんが、^{こうあん}従業員用の^{せつ}食事として^{せつ}考案したからという説があります。もう一つは、大手書店「丸善」の^{まるぜん}創始者の^{そうししゃ}早矢仕^{はやし}さんが、^{じよう}子供に^{でっち}滋養をつけさせたいと考え、肉と野菜を煮込んだものをご飯にかけ、夜食として^{でっち}丁稚に出したのが当時のハヤシライスであったという説です。

また、^{えいご}英語の「ハッシュ」がなまったものという^{せつ}説もあります。ハッシュの意味は肉の^い細^み切りのこと。もともとは、「ハッシュド・ビーフ・アンド・ライス」と呼ばれていたメニューであったといひます。この「ハッシュド・ビーフ・アンド・ライス」は、^{めいじまつき}明治末期から^{たいしやうしよき}大正初期にかけて^{とうきやう}東京で^{たい}大ヒットし、^{とうじ}当時は、^{とうきやう}東京・^{しんじゆく}新宿の^{はやかわてい}早川亭のものが、^{ゆうめい}もっとも有名でした。

今日の給食も残さず食べましょう(^^♪

